

平成 29 年度 社会福祉法人宇治明星園 事業活動(経営)計画
 (平成 29 年 3 月 30 日 第 77 回評議員会・第 266 回理事会)

スローガン

「社会福祉法人改革に対応し、透明性の高い、地域に根ざした事業経営を推し進める」

活動方針

- 1) 新定款に基づく、新組織体制(議決、業務執行、監査体制)を確立させ、軌道に乗せる
- 2) 社会福祉充実残高の算定結果を踏まえた社会福祉事業の充実・強化プランの策定を行なう
- 3) 地域における公益的な取り組みを前進させ、法人内事業所での新たな試みを支援する

具体的取組み

I 中長期計画に基づく具体的取組み

1. 新評議員体制、新理事体制、監事体制の業務執行率及び相互牽制体制が円滑に始動できるように準備を進める。
2. 平成 30 年の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を睨み、引き続き、菟道特養等建替に向けたアクション(事前協議等)を行い、青写真を描く。
3. 法人と現場が一体となり明星保育園の再構築、将来ビジョンについて協議を進める。
4. 賃貸契約が終了する平成 33 年を見据え伊勢田明星園両グループホームの今後の事業展開について検討する。
5. 社会福祉充実残高の算定を行い、残高発生の場合は速やかに充実計画の策定を進めることができるよう準備を進める。
6. 人材確保の現状を踏まえ、人材確保のための戦略及び人材育成(離職防止)のための戦略、処遇改善のための方策について検討する。

II 地域における公益的な取組み

1. 各事業所・拠点において実施している、地域における公益的な取組みを展開、充実させ、社会福祉法人としての役割を社会に向けて発信する。

(以下、実施事業)

取組拠点(事業所)	取組内容
白川明星園 ケアハウスあさぎり 白川介護サービスセンター 伊勢田明星園グループホーム	平安ロマン号 サロン白川との交流・合同事業 神明カフェ なごみカフェ/認知症相談窓口の開設 伊勢田保育園年長組との合同散歩 認知症相談窓口の開設/認知症キッズサポーター養成講座
菟道明星園 小倉明星園 伊勢田明星園 明星保育園	三室戸小学校児童絵画展/明星地藏盆 うたごえサロン/きらめき創作教室 介護予防サロン(小倉明星園と連携)/ボランティアルーム解放事業 プール開放/園庭開放

2. 社会資源の共有の視座から、地域に開かれた実践として「第 9 回実践研究発表会」を開催する。
3. 地域等における人材資源として職員の外部講師派遣等を積極的に奨励する。(職専免の活用等)

Ⅲ ガバナンスの強化に向けた取組み

1. 情報の開示の視点から平成 28 年度版「一年のあゆみ」を発行する。
2. 透明性の確保の視点から各拠点における中長期計画を明文化していく
3. 業務執行状況をモニタリングできるよう法人事務局に代わる組織(常務会等)を稼働させ現場レベルでの相互牽制機能を高めていく。
4. 各拠点の基礎的諸条件を踏まえ、役割分担について検討していく。